

## ▼デタントール錠・▼R錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ブナゾシン塩酸塩 bunazosin hydrochloride 【分類】血圧降下剤 [α1-blocker]

【単位】▼0.5mg・▼1mg錠 ▼3mg・▼6mg/R錠

【常用量】1.5mg/日より開始, 維持量3~6mg/日 [最大12mg]

【用法】1日2~3回

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし (1)

【その他の報告】GFR 38±11mL/min の12例での検討では, 平均AUCが腎機能正常者の3倍であり減量すべき [ただし個人差が非常に大きい] (Halabi A, et al: Eur J Drug Metab Pharmacokinet 18: 309-13, 1993 PMID: 7908631)

徐放錠での検討では, 有意な血圧降下は腎機能障害患者で投与後早期に得られたが, PKは腎機能正常者で変化しなかった (Shionoiri H, et al: Arzneimittelforschung 44: 1191-5, 1994 PMID: 7848330)

腎障害患者ではtmaxやt1/2は変わらないがAUCが増大し, 肝代謝が低下している可能性 [Fの増大?] (Koike Y, et al: Am J Ther 6: 83-9, 1999 PMID: 10423650)

【特徴】キナゾリン系のα遮断薬。心血管系のα1受容体に対するノルアドレナリン結合を選択的に遮断。

【主な副作用・毒性】失神, めまい, 頭痛, 倦怠感, 動悸, 低血圧, 消化器症状など

【F】44.1±7.7% (1)

【tmax】1hr (1)

【代謝】脱メチル化, 脱水化により代謝され, グルクロン酸抱合される (1) 脱メチル体の活性は未変化体の1/10以下 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.7% [po, 24hrまで] (1) 1.1% (Shionoiri H, et al: Arzneimittelforschung 44: 1191-5, 1994 PMID: 7848330) 尿中回収率36% [po] (1) 10% (Weidinger G: Arzneimittelforschung 45: 1166-71, 1995 PMID: 8929232)

【CL】37.7L/hr (1)

【t1/2】1.5hr (1)

【蛋白結合率】97.10±0.22% (1)

【Vd】82.4±28.2L/man (1)

【MW】409.91

【透析性】除去されにくい (1) HD時半減期2.40±1.7hrと非HD時と変わらない (1)

【O/W係数】0.215 [1-オクタノール水系] (1) 【pKa】7.7

【相互作用】降圧作用の増強の組み合わせに注意 (1) リファンピシンにより降圧作用が減弱 (1)

【更新日】20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。